

船工第299号
令和4年8月15日

会 員 各 位

一般社団法人日本船用工業会
専務理事 安藤 昇
(公印省略)

令和4年度 若手・新入社員教育研修の開催について (ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記研修につきましては、人材確保・養成対策として行う社会人教育事業の一環として、平成28年度より実施しております。

本研修は、今後の船用工業を支える若手・新入職員が、①社会人としての考え方やマナー等を身に付け、②船用工業を含む日本の海事産業全般に関する基本的知識を学ぶとともに、③業界内で相互交流する機会を提供することを目的として、以下の日程で、人材養成検討委員会アドバイザー等による講義・講話のほか、ビジネスマナー講座、施設見学、交流会、グループワーク等を実施いたします。

昨年度事業としての本研修については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本年5月に延期して実施したところですが、改めて今年度事業としての本研修への参加希望について「令和4年度 人材関連事業に関するアンケート」において会員各社に確認したところ、多数の希望があったため、下記のとおり実施することとしたものです。

参加ご希望の会員企業におかれましては、来る9月9日(金)までに下記の専用フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

研修参加にあたって、各自でPCR検査または医療用抗原検査を行って頂き、陰性結果を事前に提出することを参加条件としておりますので、ご承知おきの上、お申込をお願い致します。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、実施形態の変更や延期、中止となる可能性もあることをご承知おき下さい。

敬具

<開催日程>

令和4年10月26日(水)～28日(金)(2泊3日)

<添付資料>

- ・令和4年度 若手・新入社員教育研修の実施要領
- ・令和4年度 若手・新入社員教育研修 スケジュール(案)
- ・令和3年度 若手・新入社員教育研修のプレス発表資料

<申込フォーム>

<https://forms.office.com/r/NspXQU8vAj>

(問い合わせ先)

一般社団法人日本船用工業会 業務部 山内/中島

TEL: 03-3502-2041(代表) / 080-4080-8174(山内) FAX: 03-3591-2206

E-mail: yamauchi.yuto@jsmea.or.jp

令和4年度 若手・新入社員教育研修の実施要領

1. 目的

会員企業に対して、今後の船用工業を支える若手・新入職員が、①社会人としての考え方、マナー等を身に付け、②船用工業を含む日本の海事産業全般に関する基本的知識を学ぶとともに、③業界内で相互交流する機会を提供する。

2. 対象者及び研修人員

- (1) 原則として当会会員企業の若手・新入社員
- (2) 30名以内

※1社当たりの参加人数に上限は設けませんが、定員を上回る申込があった場合は調整をお願いする場合があります。

3. 参加条件

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、研修開催日の3日以内（令和4年10月23日（日）～25日（火）の期間内）に検体採取された新型コロナウイルス陰性の検査結果を示す書類等（PCR検査又は医療用抗原定性検査。写し可（写真を含む。））を事前に準備し、研修開催前日（10月25日）の18：00までに当会事務局に提出することを参加条件とします（厳守）。この点につき、予め同意の上で、お申込み下さい。

4. 参加費

8万5千円（税込み）

※申込確定後のキャンセルは、原則として費用全額を御請求します。

※参加費には、宿泊、食事費用・見学先への移動費用等を含みますが、研修場所までの往復交通費は各社でご負担をお願い致します。

5. 日程

令和4年10月26日（水）～28日（金）（2泊3日）※集合時間は初日の13時

6. 場所

- (1) 研修場所：L stay&grow 晴海（東京都中央区晴海3-8-1）

※本年5月に実施した「L stay&grow 南砂町」の系列施設です。場所が異なるため、ご注意ください。

※施設における新型コロナウイルス感染予防の取り組みについては、下記URLをご参照下さい。

<https://www.kensyu.jp/lp/infection-control/>

- (2) 見学先：調整中

※見学先への往復移動手段は当会にて手配します。

7. 研修の形式及び内容（予定）

(1) 合宿形式

(2) 研修内容は下記の通り（別紙スケジュールを参照）

目的	研修科目（仮題：順不同）	講師	形態
舶用業界の現状を多角的に学ぶ	世界の海上物流を支え成長を続ける舶用工業	事務局	講義 講話
	舶用工業における安全環境対策の重要性		
	舶用工業と若手人材への期待	人材	
	舶用工業におけるグローバル展開の最前線	アドバイザー	
社会人として必要な心得を身に付ける	ビジネスマナー講座 ①学生と社会人の違いを考える ②チームに貢献する仕事の進め方	㈱インソース	講義 グループワーク
時間的制約の中での的確に相手に情報を伝える	自己紹介及び自社製品等の紹介		プレゼン演習
製造・技術開発等の現場を学ぶ	※調整中		見学
海事産業のあり方についてチームで考える	グループワーク		グループワーク
諸行事	オリエンテーション、交流会、修了式等		

※研修内容は、予告なく変更となる可能性があります。

以 上

若手・新入社員教育研修 プログラム

日にち	開始時間	所要時間 (分)	次第	内容
2022/10/26	13時00分	10	開会式	
	13時10分	50	講演①	世界の海上物流を支え成長を続ける船用工業
	14時00分	10	休憩	
	14時10分	50	アイスブレイク	
	15時00分	10	休憩	
	15時10分	50	講演②	船用工業におけるグローバル展開の最前線
	16時00分	10	休憩	
	16時10分	90	自己紹介及び自社紹介	
	17時40分	20	休憩・身支度	
18時00分	120	懇親会		
日にち	開始時間	所要時間 (分)	次第	内容
2022/10/27	7時00分	90	朝食	
	8時30分	180	ビジネスマナー講座	
	11時30分	70	昼食・身支度	
	12時40分	5	集合	
	12時45分	75	移動	
	14時00分	120	施設見学	※見学先は調整中
	16時00分	75	移動	
	17時15分	45	休憩・身支度	
	18時00分	適宜	夕食・自由時間	
日にち	開始時間	所要時間 (分)	次第	内容
2022/10/28	7時00分	90	朝食	
	8時30分	210	グループワーク	
	12時00分	60	昼食	
	13時00分	50	講演③	船用工業における安全環境対策の重要性
	13時50分	10	休憩	
	14時00分	50	講演④	船用工業と若手人材への期待
	14時50分	20	修了式	
	15時10分	適宜	解散	

※研修プログラムは変更となる可能性があります。

報 道 各 位

一般社団法人日本船用工業会

令和 3 年度「若手・新入社員教育研修」を実施

当工業会は、人材養成対策事業の一環として、5 回目となる「若手・新入社員教育研修」を、5 月 10 日（火）～12 日（木）に会員企業 22 社 33 名の参加を得て実施した。本研修は、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止し、令和 3 年度は当初本年 2 月に開催を予定していたものの新型コロナウイルス感染症の影響で延期し、今般の開催に至った。

本研修は、今後の船用工業を支える若手・新入社員が、①社会人としての考え方やマナー等を身に付け、②船用工業を含む日本の海事産業全般に関する基本的知識を学ぶとともに、③業界内で相互交流する機会を提供することを目的としている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年新たに開業し 24 時間連続換気システムなどの感染症対策を前提に運営されている「L stay&grow 南砂町」に実施場所を変更するとともに、事務局を含む参加者全員に PCR 検査陰性証明の提出を求めた上で、2 泊 3 日の日程で合宿形式にて実施した。

研修では、当工業会の人材養成検討委員会アドバイザーの矢吹捷一氏（元三井造船株式会社 常務取締役 船舶・艦艇事業本部長）及び藤本幸延氏（当工業会 顧問／富士貿易株式会社 顧問）並びに安藤昇専務理事、中橋亨業務部長による講義、研修生による自己紹介及び自社の紹介、ビジネスマナー講座、グループワーク、交流会等を行ったほか、海上技術安全研究所の協力を得て同所の「400m 試験水槽」、「変動風水洞」、「海洋構造物試験水槽」、「自動運航・遠隔操船」を見学した。

多くの研修参加者は、この 2 年間のコロナ禍の中で外部と接する機会がほとんどなく、当初は緊張した面持ちであったものの、3 日間の研修を通じて交流を深め、最終日のグループワークでは活発に意見交換が行われていた。講義や施設見学等、随所で積極的に質問する研修生の姿も見られるなど、本研修は成功裏に終了した。

記

1. 実施期間：令和 4 年 5 月 10 日（火）～12 日（木）
2. 研修場所：L stay&grow 南砂町
3. 施設見学：海上技術安全研究所（国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 東京都三鷹市）
4. 参加者：22 社 33 名
株式会社赤阪鐵工所、イーグル工業株式会社、神奈川県機器工業株式会社、かもめプロペラ株式会社、株式会社國森、株式会社神戸機材、株式会社 COAST、島田燈器工業株式会社、ターボシステムズユナイテッド株式会社、ダイハツディーゼル株式会社、大洋電機株式会社、高階救命器具株式会社、株式会社帝国機械製作所、寺崎電気産業株式会社、東京計器株式会社、ナカシマプロペラ株式会社、BEMAC 株式会社、富士貿易株式会社、三菱化工機株式会社、ヤンマーパワーテクノロジー株式会社、株式会社横浜通商

5. プログラム：

研修科目	講師
船用工業と若手人材への期待	人材養成検討委員会アドバイザー 矢吹 捷一
船用工業におけるグローバル展開の最前線	人材養成検討委員会アドバイザー 藤本 幸延
世界の海上物流を支え成長を続ける船用工業	(一社) 日本船用工業会
船用工業における安全環境対策の重要性	(一社) 日本船用工業会
ビジネスマナー講座	(株)インソース
自己紹介及び自社の紹介	—
グループワーク	—
施設見学 (国立研究開発法人 海上技術安全研究所)	—
オリエンテーション、交流会、修了式等	—

(事務局問合せ先)

業務部 山内 TEL: 03-3502-2041 E-mail: yamauchi.yuto@jsmea.or.jp



矢吹アドバイザーによる講演の様子



藤本アドバイザーによる講演の様子



安藤専務理事による講演の様子



中橋業務部長による講演の様子



研修生による自己紹介及び自社の紹介の様子



交流会の様子



ビジネスマナー講座の様子



ビジネスマナー講座の様子



海上技術安全研究所見学の様子



海上技術安全研究所見学の様子



グループワークの様子



グループワークの様子



修了式の様子



修了式の様子

以 上